たましょうこ
玉小っ子
http://www. town. tamamura. ed. jp/tamamura-e/

令和元年度　玉村小学校
学校だより　第 36 号
2020年 1月 7日発行

今年もよろしくお願いします

◆令和二年、２０２０年、新しい年になりました。本年もどうぞよろしくお願い致します。終業式の話でも触れましたが、今年は子(ねずみ)年ですね。校長になってから毎回冬休み明けの話題に取り上げています。ねずみ年にちなんだ「ことわざ」や「話」には、どんなものがあるか、調べてみました。
①「子(ね)は繁栄」…「ねずみ算」という言葉の通り、ねずみは子どもをたくさん産むことから「繁栄の象徴」とされ、「子年は景気が良くなる」と言われています。このことから、「こつこつと頑張って行うと、良い結果につながりますよ」とも言われています。この話は冬休み前にもしました。
②「火事の前にはねずみがいなくなる。ねずみは沈む船を去る」…ねずみは昔から人間の大切な穀物を荒らす悪者とされてきていますが、予知能力が高い動物として大事にされていることもあります。
③「急ぐねずみは雨に会う、急ぐねずみは穴に迷う」…物事を急いでしようと思うならば、かるはずみに行わず、じっくりゆっくり考えてしなさいと言うこと。「急がば回れ」に似ていますね。
◆ねずみが関係することわざはたくさんあります。「ねずみは大黒天の使い」「袋のねずみ」「ねずみの嫁入り」「ねずみも虎のごとし」「ねずみが塩をなめる」等々。本日の始業式の話では、②と③を取り上げて、子ども達に話しました。ご家庭でも「子(子年)」にまつわることなど話題にしてみてください。
◆今年も、昨年以上に、まとまりのある調和した、皆仲の良い玉村小・玉小地区を目指していきたいと思います。教職員一同頑張りますので、皆様方の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いします。玉小の子ども達、保護者・地域の皆さんにとって本年がよき年であることを心より願っております。

■□ 始業式の話「子年は、３学期は、」 ７日 ■□

■令和２年、２０２０年、新しい年となりました。いよいよオリンピックイヤーとなりましたね。楽しみですね。今年もみなさんにとって素晴らしい１年になることを校長先生は願っています。さて、今年は子(ねずみ)年です。冬休み前にも話しましたね。ねずみにちなんだ「ことわざ」を２つ紹介します。
■１つ目、「火事の前にはねずみがいなくなる。ねずみは沈む船を去る。」と言われています。ねずみは昔から人間の大切な食べ物などを荒らす悪者とされてきていますが、とても予知能力が高い動物として大事にされていることもあるのですね。災害がありそうな時に、ねずみの動きで「何か起きるぞ」と警戒したそうです。
■２つ目、「急ぐねずみは雨に会う、急ぐねずみは穴に迷う。」です。急ぎすぎると良いことはありませんよ。物事を急いでしようと思うならば、軽はずみに行わず、じっくり考えてしなさい。と言うことですね。違うことわざの「急がば、回れ」に似ていますね。
■他にも「ねずみ」に関係する話やことわざはたくさんあります。お家で話題にできると良いですね。
■では、話の最後です。３学期となりました。冬休みはしっかりとお手伝いをして、元気一杯勉強や運動などに頑張れたことと思います。冬休み前に話した「大人の方への感謝の気持ち」は伝えられましたか。それから、「新年の抱負」や「今年の頑張ること」はお家の人としっかり決められましたか。今の学年も残り３ヶ月となりました。自分の成長や頑張りを実感する時です。「やった～」「できた～」「悔いはないぞ～」等々、みんないろいろな違った感じ方でOKです。大きな自信をもって、光り輝いて進級や卒業ができるように自分の腕をどんどん磨いて、自分の成長をしっかりと感じられる３学期にしていきましょう。

子

手洗いうがいをこまめに！感染症予防の徹底

■本日から学校生活が始まり集団での生活が再開されました。玉小では、冬休み前に６年生を中心にインフルエンザが出ています。例年１月下旬から３月上旬頃になると流行します。６年生を送る会や卒業式の練習もままならない状況になってしまう場合もあります。そうならないためにも、日頃からの「予防」が大切になります。水分補給では、殺菌効果のある「カテキン」で「茶」を飲むことが良いと言われています。それ以上に大事なことは、授業の合間の「手洗いうがい」なのです。もちろん帰宅した際の「手洗いうがい」も。また、休日の家庭での「手洗いうがい」を徹底することで、ウイルス感染は防ぐことができると思います。最近の高機能マスクも有効です。予防注射をしたからと言って安心はできませんね。是非、家族でも予防に取り組んでください。昨年も同様にお願いした事です。よろしくお願いします。

【お願い】毎朝、お子さんの健康状況をきちんと確かめてください。様子がおかしければ、体温を測って、その日の対応をお考え下さい。この時期は少しの熱でも油断はできません。無理に登校させてしまい、学校に来たら熱が上がり、早退という事もよくあります。その場合、インフルエンザの発症も考えられます。家庭や学校での感染の拡大を防ぐためにも、医師の診察を早く受けて、感染の有無を確かめるなど、ご配慮とご協力をお願いします。

「書き初め」4年10日、3･5年14日、6年15日、1･2年授業で

新たな決意

進む勇気

流れる星

美しい心

きれいなはつ日の出を見ました。新しい一年がはじまります。

元気にあいさつ

お正月に、おぞうにをたべました。からだがぽかぽかしました。

ふじ山

■冬休み明けの恒例行事となっている「書き初め」。３～６年生は体育館を会場にして、古新聞紙を敷いて条幅紙に向かいます。また、低学年でも書写の授業で「硬筆」の書き初めを行います。各学年の達筆者の代表作品は、2月の子ども芸術展にも出品されます。毛筆では、3年が「美しい心」、4年が「流れる星」、5年は「進む勇気」、6年は「新たな決意」です。低学年の硬筆では、１年は「お正月に、おぞうにをたべました。からだがぽかぽかしました。」と「ふじ山」。２年は「きれいなはつ日の出を見ました。新しい一年がはじまります。」と「元気にあいさつ」です。どの学年でも、丁寧で元気な字が書けるといいですね。

■「書写」の授業では週1時間、硬筆や毛筆に取り組んでいます。（低学年は鉛筆やフェルトペンの硬筆）手本を見て字を丁寧に書くことは、大人になっても様々な場面で生きてくるものです。「丁寧な字」（上手い字とは限りません）を書く習慣を身に付けておくことが大事です。パソコンやスマホの普及で、手で文字や文章を書く機会が少なくなっています。特に、普段の生活で「筆」で書く機会はほとんどありません。けれども、時節や慶弔の折には書くことは必要ですね。手軽な筆ペンであっても、筆で書く文字は難しいものです。普段から練習しておくことが大事ですね。

こうちょうのひとりごと

■今年はねずみ年と言うことで、自分も子年の５巡目の年男です。なので12月には還暦になってしまうと言うことです。ん～歳をとるのは早いものです…悲。ですが、まだまだやれることはたくさんありますので、いつも子ども達に言っている「腕を磨く」ことは実践しなければと…。この一年、精一杯頑張ります。